

介護の初任者研修 3年生14人が修了 島原農業高



前田校長(左)から修了証明書を
受け取る生徒
＝島原市下折橋町、島原農業高

県立島原農業高(前田達彦校長、278人)の生活福祉科福祉・看護コースの介護職員初任者研修修了式が27日、同校であり、同コースの3年生14人が修了証明書を受け取った。

研修は、同コースのカリキュラムの一つで、生徒は昨年12月から今年7月末までの8カ月間、計130時間受講。県介護福祉士会の講師から、食事や入浴の介

助、車いすの安全な操作法などを学んだ。

修了式で前田校長が、一人一人に修了証明書を手渡し「修了は頑張った証。社会に出る上での自信と誇りにつながる」とあいさつ。修了者を代表して大平麻琴さん(18)が「福祉の実習で学んだ傾聴、受容、共感を、今後の学習や進路で生かしていきたい」と述べた。

(大田裕)